



特集

ガーデニングを 楽しもう

暖かい日が続き、今年もガーデニングの季節の到来です。

公園などの花壇も色とりどりの花が咲いているのを

見かけるようになりました。

生活の中に花や緑があると心が和みますね。

今年は自宅でも花がある暮らしを楽しんでみませんか？



自分好みのガーデニングを

ひと昔前、園芸といえば盆栽など、主に男性の趣味といった印象でした。一九九五年頃からガーデニングという言葉が広がり、それまで園芸に興味のなかった女性達も取り込み、一気にブームが到来しました。

最近では、手間のかからない多肉植物や家庭菜園などの実用的なものが流行しています。また、イギリスの庭をイメージしたイングリッシュガーデンやバラ園芸は根強い人気を誇っています。

北海道は例年、四月から十月頃までガーデ



ニングを楽しむことが出来ます。ガーデニングには「必ずこつしなければならぬ」という決まりはありませんので、目的や考え方に応じて多様化しているといえます。

季節ごとの花、シーズン通して楽しむことができる花、色々な花にチャレンジしてみましよう。「場所がないから」と、あきらめる必要はありません。広いスペースがなくても、玄関先やベランダなどのちよつとしたスペースで手軽にガーデニングは始められます。



気に掛けてあげることが、大切

ひとつの鉢に何種類かの草花を集めて植える、寄せ植え。選ぶ花によって、いろいろな季節の表情が楽しめるのが魅力です。

植物にも太陽を好むもの、日陰を好むもの、成長の早いもの、遅いもの、といろいろな性格があります。相性の悪いもの同士を一緒に植えてしまうと枯れてしまうことがあります。育つ環境が似ているもの同士を植えられるよう苗を購入する際には店員さんに確認しながら購入すると良いでしょう。また、寄せ植えをするときは、タテに伸びるもの、こんもり茂るもの、横に這うものを組み合わせるとレイアウトすると単調にならず、バランスが良くなります。

ガーデニング初心者でも、市販されているも



1. 用意するもの

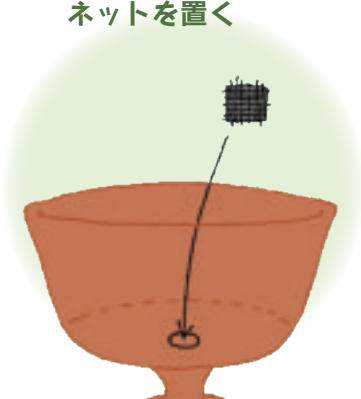
- ・鉢 ・鉢底ネット ・苗 ・軽石 ・培養土
- ・シャベル、土入れ
- ・ハサミ



2. レイアウトを決める



3. 鉢の底穴の上に鉢底ネットを置く





梅木 あゆみ

1995年月形町で生産直販店「コテージガーデン」を主婦から起業。年間を通し2000品種以上の植物苗生産し、百合が原公園の売店も経営する。ノーザンホースパークK's Garden、滝野公園、層雲峡温泉、個人庭園などの、企画から管理に至るまで行っており、「オープンガーデンof北海道」を発行するブレインズ種まく私たちのメンバー。2009年度北海道「輝く女性のチャレンジ賞」2010年度内閣府「女性のチャレンジ賞」受賞。日本ハンギングバスケット協会公認講師。三男一女の母。

お話しを伺った方

のであれば、どの花も育てるのが難しいということはありません。ただし、植物の状態を見て水をあげたり肥料をあげたり、大きく育てば大きな鉢に植え替えたりなど少なからず手間は掛かります。自分がどの程度手間を掛けられるのか考えながら好きな植物を選んで自分だけの寄せ植えを作ってみましょう。

相対して会話ができること。それが、直売の魅力。

中央地区組合員の柿原正文さんが、生産直営の苗を販売する柿原園芸店では、この時期、色鮮やかな花の苗が咲き揃います。「今年は、雪解けが早かったのもあって営業開始は4月中旬頃。本格的なシーズンはこれからですよ。」

ゴールデンウィークを間近に控えたこの日は、入れ替わり立ち替わり、お客さんがひっきりなし。開業当初から通ってくれている方も多くそうで、持参したメモを片手に欲しい花を探す方が多く見受けられました。

「この花に合うのは、どれ？」お客さんからの問いかけに、柿原さんが一つ一つ丁寧に答えていきます。気軽にプロのアドバイスを聞きながら購入できるのも、柿原園芸店の魅力の一つ。数年前からは、要望を受けて野菜苗も取り扱うようになりました。

郊外の大型量販店へ行けば、安価で多品種の苗が大量に揃うかも知れませんが、そこにはない魅力が柿原園芸店にはたっぷりつまっています。一度、足を運ばれてみてはいかがでしょうか？お気に入りの花がきっと見つかるはずです。



柿原園芸店 〈札幌市中央区円山西町7-2〉

電話：011-612-8787

営業時間：9：00～18：00

(シーズン期間：4月中旬～10月末頃)

定休日：無休



▲「鉢だけ持ってきたお客さんにアドバイスすることもありますよ」

6. 苗からポットをはずし、苗をほぐす。苗の底に根が詰まっていたらハサミなどでやさしく根の表面をはがす。



5. 土を鉢の1/3くらいまで入れる



4. 土の深さが10～15cmになるように、軽石を入れる(浅い鉢であれば不要)





摘心

たくさんの茎を伸ばして、こんもりとした姿に育つように、若い苗のうちに先端の芽を摘み取りましょう。摘心を行なわないと、茎の先端部分だけがひよろひよろと伸び、見栄えが悪くなります。摘心の必要がないものもあるので、園芸店などに確認しましょう。

切り戻し

花が咲き終わった時点で、茎や枝を短く切除する作業です。一度咲いたら終わりの花は必要ありませんが、一年草や返り咲きをする宿根草など、何度も花が咲く植物は切り戻しをすることによって、またキレイに咲き始めます。

水やり

土が乾いていたらたっぷり水をあげるのが目安。頻繁な水やりで土が常に湿っている状態だと、根腐れして枯れてしまうので注意！土が水を吸って、ずっしりと重いが、植物がぐったりして元気がないときは、水のやりすぎです。

花がら摘み

花がらとは、咲き終わった後も残っている花のことをいいます。植物は、花が咲いた後は種を作り始めます。この種を作るのに、たくさんの栄養を使うので、新しい花をつけにくくなります。満開後、あと3日でだめになるなどという状態のときに花を取ったり、雨の前に取ってしまうのも、きれいに咲かせるコツです。

肥料

鉢花の場合は鉢花用の肥料を使用しましょう。

畑用の肥料は鉢花には強すぎて、生育不良や枯れる原因になってしまいます。生育の状態を見ながら与える肥料を追肥といいます。葉の色が変色している場合や、摘心・花がら摘み・切り戻しをしたら追肥を行ないましょう。効き目に即効性のある液肥と効果が持続する遅効性の置き肥を植物の状態によって使い分けましょう。

日々のお手入れ

ア

コレ

コレ

コレ

9. 完成！！



8. 全ての苗を植えたら、苗の間に土を入れて、隙間をなくす



7. 鉢に一苗ずつ植えて、土を苗の高さに合わせてかぶせる



特集 ガーデニングを楽しもう



毎年恒例、苗物市

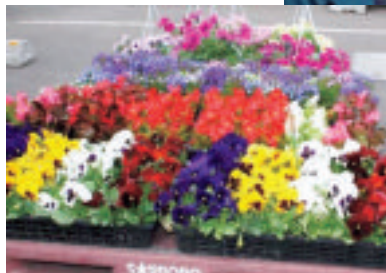
五月十六日（土）の篠路、北札幌地区を皮切りに、今年も九会場では苗物市が開催されました。

「農協の苗が一番良い」と、毎年必ず訪れる来場者も多く、抱えきれないほどの苗を購入する人々で賑わいを見せました。たくさんの方がガーデニングや家庭菜園を楽しんでいます。

▶ 倉庫いっぱいに苗が並んだ篠路地区。中でもトマトの苗が大人気。お目当ての苗を吟味して購入していました。



▲ 全会場の中でも、1番の来場者数を誇る手稲地区。開店前から行列が出来始め、入場制限まで！レジにも長蛇の列ができ、途絶えることはありませんでした。



▲▶ 天候にも恵まれた南地区。人気の苗は早い者勝ちです。



◀ 開店直後、お目当ての苗に一直線。長ネギの苗が毎年大人気の厚別地区。大きなごや台車を持参した来場者が目立ちました。